

一曲マスターWEBギター講座「アルハンブラの思い出」編

一曲マスターWEBギター講座。講師を務めます、ギタリストの土田直之です。この講座では一曲を完全にマスターできるように丁寧にレッスンしていきます。

今回のシリーズではスペインのギタリスト、フランシスコ・タレガの「アルハンブラの思い出」にチャレンジしてみましょう。

レッスンを始める前に、カリキュラム説明、楽譜、そして指のポジションを表す写真をダウンロードしてください。譜面の読めない方にもTAB譜付きの楽譜をご用意しています。ギターの独特なテクニックであるトレモロ奏法を使った名曲「アルハンブラの思い出」をものにしたいという方、是非私のレッスンにご参加ください。

セクション1

模範演奏とトレモロ奏法

◎トレモロ奏法における右手の動かし方

Check Point !

ひとつひとつの音をしっかり均等に弾いてください。

親指で弾く音が6弦から3弦、2弦と移動します。この時、右手首はできるだけ動かないように気をつけてください。また、親指と人差し指が近い弦を弾くときにぶつからないようにしましょう。クラシックギターでのトレモロ(伊: tremolo)とは、低音を親指で弾き、続いて薬指、中指、人差し指の順に同じ弦を連続して弾くテクニックです。

セクション2

マークA、Bの8小節

◎左手中指の動かし方1

Check Point !

左手の中指は2弦の上を滑らせるように移動します。弦から離しません。その中指と薬指の位置関係も目で見て記憶しておきましょう。

セクション3

マークC、D、Eの12小節

◎左手の動かし方1

Check Point !

マークCの1小節の3拍目は人差し指の付け根で押さえます。同じくマークCの3小節、スラー(英: slur)が出てきます。スラーとは音と音をなめらかにつなげて演奏するテクニックです。ギターでは左手の指だけで音を出します。ここでは小指を使います。

マークDは左手の押さえが複雑な形になります。指を押さえる順番に注意しましょう。

セクション4

マークF、Gの8小節

◎左手中指の動かし方2

Check Point !

ここからイ長調になります。シャープが3つ付いていますので注意してください。ここも左手の中指は2弦の上を滑らせるように移動させます。弦から離してはいけません。左手の移動をスムーズに行えるようにします。

セクション5

マークH、Iの8小節

◎左手の動かし方2

Check Point !

マークHは左手のセーハ(西: ceja)が続きます。セーハとは1本の指で同じフレット上の複数の弦を同時に押弦することです。左手の人差し指を真っ直ぐに保ち、力まずに押しえられるようにしましょう。

マークIの3小節はとて左手の開きが大きくなります。手を広げる準備を早めにします。

セクション6

マークJ、K、Lの12小節

◎リズムよく低音を歌う

Check Point !

マークJのひとつ前の小節、コード部分から始めます。同じ音が続きますのでなんとなく弾いていると親指の音を1つ多く弾いたり少なく弾いたりしてしまいやすいです。3拍子のリズムをしっかりとって弾きます。また親指で弾く低音もよく歌うように弾きます。

セクション7

マークM、Nの8小節

◎終わり方

Check Point !

最後の部分です。気持ちを込めてゆったりと落ち着いた雰囲気です。

マークMの始めも左手は難しい形です。指を押しえる順番に注意しましょう。

マークNのアルペジオではやはり左手の中指を2弦の上を滑らせるように移動させます。

アルペジオとは(伊: Arpeggio)とは、和音を一音ずつ順番に弾いていくことです。